



自己紹介で交流する子どもたち

本校には、現在598人の児童が在籍しています。校区に、海上自衛隊鹿屋航空基地がある関係で、地元の児童に加えて、県外からの転入や県外へ転出する児童が多いのが特徴の一つです。

土曜授業は、一昨年度10月から、個に応じた指導と豊かな心の一層の充実を目指して、毎月第2土曜日に実施するようになり、本年度は10回を予定しています。

本校では、補充指導と学年を越えた児童同士の交流活動、地域の方との交流活動などを行っていますが、ここではその一端を紹介いたします。

本校は大規模校のため、異年齢集団で交流する機会が少ないです。そこで、子どもたちが異学年の友達と交流することを通して交友関係を広め、互いを認め合い、思いやることのできる気持ちを育むことを目指して、全校レクリエーションを設定しました。

活動では、総務委員会の児童が企画運営を担当し、異学年・男女混合の5人グループをつくり、自己紹介・名刺交換・キヤッチゲームなどの仲間づくりゲームやじゃんけん列車を行いました。体育館中に子どもたちの歓声が広がり、会場は温かい雰囲気になりました。特に1年生にとって、たいへん楽しく、有意義な活動となりました。

初めに入りました。地域の方からは、「子どもたちがよく集中していますね」「最後まで気持ちを向けて頑張りましたね」など言葉かけをいただきました。

中には、筆の運び方に難しさを感じた子どももいましたが、温かい指導のもと、最後まで集中を切らすことなく、精一杯書き初めに挑戦することができました。

今年度の土曜授業
土曜授業も今年度で3年目を迎え、保護者にも徐々に浸透しつつあります。今年度は、子どもたちの学びの場をさらに拡充するため、可能な限り外部講師を招聘して土曜授業が計画されています。

私たち保護者も、子どもたちがさらに生き生きと学習する姿を目指して学校との連携を深めていきたいと思っております。

書き初め大会

かのや学校応援団に書き初めの講師を依頼したところ、地域で書道をさされていらつしやる「皆行草」と「宗雲会」という自主団体の方々にお越しいただきました。

最初に、スライドを使って筆の持ち方や文字のバランスなどを指導いただき、



地域の方に熱心に指導を受ける子ども